

小学部二年A組

兄弟げんかの音

ぼくと弟がけんかをするといつもいろんな音がする

ギヤーギヤーギヤー

エイエイエイ

ボカボカボカ

ウツウツウツ

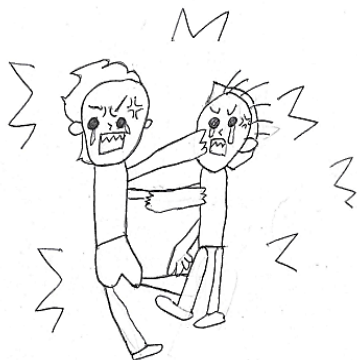
そしたらママが

こらこらこらっ

そしたらこんどは

えーん えーん えーん

でもまた今日もけんかする



すずき
かいり

グラントデトン ナショナルパーク

田中 ゆな

わたしは、家ごとくグラントデトンナショナルパークへ行きました。お父さんが車をうんてんしている時にムースを見つけたので、車を止めてみんなまで走って見に行きました。でも、とても遠かったです。つぎに、お母さんが赤ちゃんムースを見つけたので、またいそいで車を出て走って見に行きました。山の下にいました。近くにお母さんムースもいました。少し遠かったです。草を食べていました。とてもかわいかったです。ムースを見られたので、うれしかったです。グラントデトンナショナルパークはとても楽しかったです。また行きたいです。

日光えど村

山足 こうき

夏休みに、日光えど村に行った。にんじややしきに一人でせん入し、できるだけ早くだつ出するちようせんにいどんだ。かくしとびら、かくしかいだん、せまいやねうらべやや、地下への通ろを通り、さい後にあんごうをといてかぎをあげ、外に出る。六分十一びようかかったが、一人前のにんじやににんていしてもらえた。すごく楽しかったので、またやりたい。

ばんぱく

仙波 郁人

今日は、ばんぱくに行きました。一番すごかったのは、ドイツかんです。なぜかという、光るサーキュラーというかわいいロボットがすごかったからです。

そのロボットどうしが頭をこつこつんこさせると、歌を歌います。いちばんいんしょうにのこりました。楽しかったです。

ぼくじょうの大ぼうけん

原田 そうのすけ

ぼくの友だちが、ぼくじょうにつれて行ってくれました。

「ぼくのぼくじょうに今から行く？」

と、友だちがさそつてくれて、とてもこうふんしました。車で四十二分かけて行きました。とうちやくしたら、大きくてドキドキしました。

まずはじめに、友だちといっしょにバイクにのりました。さいしょはのるのがこわかったけど、のり方を教えてくれたので、ちようせんしました。エンジンをかけるためにひもを引きます。エンジンがかかったら、いすにすわつてハンドルを手前にねじると走りはじめます。走つていたら丸太をふんでしまい、空高くとびました。その時ぼくは、ハンドルから手をはなしてしまいました。ひやつとしましたが、足でちやく地したのでぶじでした。はじめてバイクにのれて、楽しかったです。

つぎに、ハイキングをしました。細くて長い道には、さわるとかゆくなる草が生えていました。たくさん歩くと、きらっとした夕日と牛がたくさんいる場しよにつきました。すると、牛を見はつていた犬が

近づいてきました。だれの犬かわからなかったのですが、とてもかわいかったです。ぼくたちの後をついて来て、いっしょにハイキングをしました。しばらく歩くと、その犬はどこかに行つてしまいました。もう少し歩くと、川がありました。ボートにのるためにボートをおこすと、黒と黄色のへびと見えるが出てきました。このへびにはどくがないと分かつたので、はじめて野生のへびをさわりました。へびはシューシューといつておこつていたので、みんなといっしょにしゃしんをとつたら、にがしてあげました。その後、ボートにのつてこぎはじめたら、犬がおよいでのつてきたので、ボートにのつた八人ぜんいんびしよぬれになりました。

夜になつてきたので、ランチハウスにもどつてブルであそびました。さい後にみんなピザを食べて、お家に帰りました。

いろいろな大ぼうけんができて楽しかったです。また行きたいです。

ダイヤモンド

加藤 萌海七

先日、私は兄の大親友の家ぞくといっしょに、アーカンソーに行つてダイヤモンドほりをしました。一番よかつたのは、みんなといっしょにがんばつてほつたことです。どうして楽しかつたかという、「ほうせきかな。」とさがしてワクワクしながらほれたからです。

さんねんながら、ダイヤモンドは見つけられなかつたけど、かわりに、ふつうの石ではない、今まで見たことがないかわつた石をさがせたので、とてもうれしかつたです。

ぜひ、みんなもアーカンソーに行つて、ダイヤモンドをほりに行つてください。

「スイミー」を読んで

百世 まこと

「スイミー」を読んで、好きな場めんをしようかいます。

ぼくの好きな場めんは、スイミーが兄弟とそっくりな魚たちを見つけた場めんです。なぜなら、かなしかったスイミーは、やっとうれしくなれたからです。

ぼくがはじめてアメリカの学校に行った時も同じ気持ちでした。えい語がまったく話せなかつたので、先生や友だちの言っていることがわからずふあんでした。その時、「おはよう。」と、声をかけてくれた友だちがいました。ぼくのふあんな気もちがきえて、とてもうれしくなりました。スイミーも、兄弟とそっくりな魚を見つけた時、ぼくと同じようにあんな心したと思います。

ぼくも新しい友だちが学校に来た時は、あんな心でできるように声をかけてあげたいです。そして、スイミーのように、日本人みんなですけ合いなから、がんばりたいです。

「どうぶつ園のじゅうい」を読んで

山本 一晴

「どうぶつ園のじゅうい」というお話を読みました。どうぶつ園ではたらくじゅういさんのお話でした。

どうぶつ園にはどうぶつがたくさんいるので、けがやびよう気になるどうぶつもたくさんいます。そのため、じゅういさんは、生きものを一びきずつ手当てをするから大へんです。

じゅういさんが家に帰る前にどうぶつ園でおふろに入るのは、はじ

めて知りました。でも、この話をじゅういしのめんきよをもっている父に話すと、父が上野どうぶつ園でじっしゅうした時も、おふろに入ったと教えてくれました。

この話を読んだ後、どうぶつ園のせわをすることの大へんさを知って、どうぶつ園に行きたくなりました。

「どうぶつ園のじゅうい」のかんそう

かぎ小野 しゅんじ

「どうぶつ園のじゅうい」を書いた人は、うえだみやさんです。このお話は、じゅういさんのことについての文しょうです。

ぼくがはじめて知ったことは、にほんざるがにいくすりが大きらいなことです。つぎに、じゅういさんがどうぶつに顔を見せて、声をおぼえてもらうことです。そして、毎日きろくをすることです。さいごに、どうぶつ園を出る前には、かならずおふろに入ることです。

ぼくがおどろいたことは、ペンギンがボールペンをのみこんだことです。ボールペンをのみこんだペンギンは、とてもいたかつたと思います。だから、じゅういさんがボールペンをとり出したとき、あんな心しました。

ぼくは、じゅういさんのしごとは、とてもいそがしいと思いました。なぜかというところ、うえだみやさんは、いつもどうぶつのために、たくさんしごとをしているからです。自分の生活とくらべてみると、日記をいつも書くのが同じです。

もっと知りたいことは、ほかのどうぶつは、どんなびよう気になるのか、どんなちりようをするのかについてです。

ドキドキびつくりばこ

わだ たいせい

これから、ドキドキびつくりばこの作り方をせつ明します。ざいりようは、空きばこ（はこを作ってもいい）、そして色紙やおり紙、はさみ、のり、テープをつかいます。

まず、ふたがあけしめできるはこを用います。空きばこなら、はこのまわりに色紙をはるときれいに見えます。

つぎに、バネを作るための細長い紙を用います。おり紙では、たて四とう分に切ったら、それぞれたて半分にあります。その二本を一字に組み合わせます。

それからその下がわの紙を、上の紙にそって、谷おりにします。つぎにもう一本の紙を同じように谷おりにしてかさねます。この谷おりを、おれなくなるまでつづけます。これがバネになります。長いバネにしたい時は、細長い紙をつなげておれば、長くなります。

さい後にバネのぶ分が出来たら、バネのはしをはこのそこにはりつけて、もうかた方は、とび出すぶ分になるので、シールなどをはりまします。絵をかいた紙をはつてもよいです。ふたをしめて、かんせいです。

あそび方は、はこのふたをあけたら、絵またはシールのぶ分がとび出て、友だちをびつくりさせられます。

入学しき

牛じま けい太

ぼくは、入学しきでおいわいのことばを言うだいひようしやにえらばれました。

家でもれんしゅうして、百点まん点をとれるようにがんばりました。そして、本番は、「時が来た。もうれんしゅうはできないぞ。」と思いました。

前に出た時は、人が多くてきんちようしました。前の二人が、がんばっているのを見て、ぼくもがんばろうと思いました。れんしゅうのおかげできちんとできました。

それで、家に帰ると、お母さんに「大きな声でゆつくりと読めていて、かつこよかったよ。」とほめられました。

これからも本番の前にれんしゅうして、がんばりたいです。

ようちぶとランチ

ディアス ガブリエル

今日、ほしゅう校で、ようちぶとランチを食べました。みんなで食べておいしかったです。となりにすわったようち園生のおべんとうもおいしかったかな。

ランチがおわったら、ようち園生がトイレに行きたがったので、ぼくがつれて行ってあげました。その時、ぼくの妹を見つけて、うれしかったです。

その後、ようち園生たちとおもちゃでいっしょにあそびました。ぼくがようち園生だった時にあそんでいたおもちゃがあつて、なつかしいな、と思いました。

ようち園生といっしょの楽しい時間でした。

リレーせん手

北山 莉帆

わたしが、ほしゅう校の前きで一番心にのこっていることは、リレーせん手になれたことです。

一時間目に、二人がペアになって走りまわりました。その時のタイムで、わたしがえらばれました。きよ年はビリだったので、びっくりしました。うれしくて、うんどう会がもつと楽しみにになりました。お母さんは、「すごいね。」と言いました。お友だちは、「いいな。」と言いました。

うんどう会でしつかりはしれるようにれんしゅうします。白組かかてるようにがんばります。

休み時間

みと しゅんせい

ぼくは、休み時間に、友だちといっしょにあそんだり、しゃべったり、教室の外にある「今日のできごと」を見たり、まどの外を見たり、日光をあびたり、いろいろなことをしました。その中でも一番すきなことは、まどの外を見ることでした。きれいな空が見えました。

しゅくだい

クロプトン ステラ

わたしは、ほしゅう校のしゅくだいをしました。お母さんといっしょにやりました。しゅくだいは、とてもたいへんです。なぜなら、日本語だからです。

算数はすきです。だから、いつも算数のしゅくだいからやります。ほかのしゅくだいは、たくさん書いて、たくさん読みます。だから、時間がかかりません。

わたしは、しゅくだいをあまりしたくないです。そして、しゅくだいは、すきではありません。

わたしのペット

ベリオス モナ

わたしのペットは、ゴールデンアップルスネールです。ゴールデンアップルスネールは少しはやくうごきます。体からのぼしたくたを、水めんから出していきをします。

くだは、十センチメートルです。くだがのびるときは、木のえだがよきによきと生えるみたいです。

ある日、わたしはゴールデンアップルスネールのこうらをきれいにしました。ハブラシでゴシゴシこすりしました。七分ゴシゴシきれいにしました。小さいうつわにスネールを入れて、手で少しこうらをもつて黒いコケをとりのぞきました。こうらがピカピカになってうれしかったです。ずっと生きていてほしいと思いました。

雲

たかはし なる海

わたしは、雲のかんさつをしました。

雲は大きいものもあるし、小さいものもありました。数えきれないほどいっぱいありました。形は少し細長いものが多かったです。色は白で、せんぶ同じでした。

雲は空にあるので、においはかげませんでした。手ざわりも雲が空にあるので、さわれませんでした。雲自体の高さは高かったです。

大きい一けん家

柴本 凌

ぼくの家ぞくは、十月一日にカリフォルニアしゅうからヒューストンへ引っこしてきました。

ぼくは、はじめて自分の新しい家を見たとき、前のアパートとくらべてとても大きかったのでびっくりしました。自分のへやで、すきなおもちゃを広げてあそぶことを考えただけで、とてもわくわくしました。また、にわを見て、サッカーや、スクーターのあそびができると思っ、とてもうれしい気持ちになりました。きつと、へやがたくさんあって、天井ようがとても高くて広びろとしているから、お父さんとお母さんはこの家にきめたのだと思いました。

引っこしていちばんよかったことは、自分のへやができたことです。なぜなら、自分だけの空間であそべることが今までになく、とつてもうれしかったからです。レゴをゆか一めんにたくさん広げて、自ゆうに組み立ててあそんだことが、とくに心にのこっています。

十月でいちばん楽しかった思い出は、お姉さんと家の中でかくれん

ぼをしたり、ゲームルームでおにごっこをしてあそんだことです。たとえば、かくれんぼでは、へやがたくさんあるから、お姉さんを見つけることがむずかしかったけど、とてもわくわくしました。おにごっこでは、家の中で走り回れることが、はじめての体けんて心がおどりました。

これから、友だちやご近じよさんを家によんで、いっしょにごはんを食べたり、あそびたいと思っています。新しい学校も楽しみたいです。

ブロックでぼうえんきよう

大串 かなと

ブロックでぼうえんきようを作りました。そのとき、お空に星が見えたので、ぼうえんきようで見えました。

四こ、星がありました。見るのが楽しかったです。家ぞくにも、見てもりました。

「すごいね。きれいだね。」
と言われました。

ぼくが上手になったりゆうは、赤ちゃんのときから、ブロックを作っていたからです。これからも、いろんなものを作ってあそびます。

楽しいから、今読んだ人は、作ってみてください。ブロックというのは、ナンバーブロックのことだよ。作ってみてね。

たまごやきを作ること

わたべ りつき

私は、たまごやきを作るのがとくいです。いつもおべん当に入っているのですが、自分でも作ってみたいと思いました。作り方は、お父さんとお母さんに教えてもらいました。

朝はいそがしいので、わたしはおべんとう用のたまごやきは学校の前日の夜に作ります。たまごをわって、まぜるときが、いちばんわくわくします。「おいしくなーれ。おいしくなーれ。」と心の中で思いながらたまごをまぜます。あじつけをするのも楽しいです。わたしのたまごやきのあじつけは、しょうゆとみりんです。

お母さんに「形がきれいだね。」と言われて、お姉ちゃんには「すごいね。おいしいね。」と言ってもらい、うれしかったです。お父さんには「今度はふわふわになる作り方を教えるね。」を言われました。

みんなから「おいしいね。」と言われると、もっと作りたくなります。わたしはたまごやきを何回も作っているので、うまくなっていると思います。

みんなの分のたまごやきを作るだけではなくて、もっとほかのおべん当のぐざいを作って、お母さんのおてつだいをしたいです。

